



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日 東

上場会社名 丸一鋼管株式会社 上場取引所
 コード番号 5463 URL <http://www.maruichikokan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 鈴木 博之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 河村 康生 (TEL) 06-6531-1201
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	113,986	15.2	13,871	△6.7	15,523	△7.8	10,322	△0.4
26年3月期第3四半期	98,935	12.5	14,863	36.1	16,834	37.7	10,365	24.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 16,697百万円(△22.0%) 26年3月期第3四半期 21,398百万円(176.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	121.82	121.71
26年3月期第3四半期	122.33	122.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	312,391	253,769	77.6
26年3月期	300,482	242,520	77.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 242,405百万円 26年3月期 232,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	25.00	—	48.50	73.50
27年3月期	—	25.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	46.00	71.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	152,300	11.5	17,800	△11.4	19,900	△11.9	13,100	△4.7	154.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期3Q	94,000,000株	26年3月期	94,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	9,270,049株	26年3月期	9,265,038株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期3Q	84,733,522株	26年3月期3Q	84,733,416株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や円安などを背景とした企業収益の回復や雇用の改善などにより景気は回復基調で推移しましたが、一方で円安による物価の上昇や消費税率引き上げの影響による個人消費の弱さなどが懸念されます。海外では、米国経済は企業業績、個人消費などが堅調に推移していますが、欧州経済のデフレ懸念、アジア経済での中国経済の減速など海外景気の下振れリスクも懸念され、景気の先行きは不透明な状況にあります。

(日本)

国内事業につきましては、当社主力製品である建築・土木用鋼管需要については、前半は消費税増税の影響が心配されたものの、雪害復旧用の農芸用鋼管の特需が加わり、販売数量は堅調に推移しました。しかしながら、後半は建築・土木用鋼管需要の荷動きが悪くなり、自動車用鋼管についても、円安にもかかわらず需要が回復しない状況で推移しました。一方、製品価格については、原材料コイルの価格上昇分を転嫁するべく値上げに努めましたが、需給バランスが悪く市況が活性化せず不発となり、コスト高で推移しました。

以上により国内事業の売上高は748億9千1百万円（前年同期比6.0%増）、セグメント利益は136億2千7百万円（前年同期比4.5%減）の結果となりました。

(北米)

北米事業につきましては、第1四半期連結会計期間より、自動車向け鋼管を生産するメキシコのマルイチメックスS.A. de C.V. (Maruichimex社) を重要性が増したため、新たに連結の範囲に含めております。

米国のマルイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC (Leavitt社) の販売数量が増加したことにより、売上高は162億1千8百万円（前年同期比24.7%増）と増加しましたが、米国鉄鋼市況が年央より悪化し、またLeavitt社のAPI設備の稼働遅れによるコスト負担などによりセグメント利益は1億1千6百万円（前年同期比28.8%減）と減少致しました。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムのマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー (SUNSCO社) で新規設備の稼働により販売数量が増加し、売上高は228億7千7百万円（前年同期比50.0%増）と大幅に増加致しましたが、中国及び東南アジアでの鉄鋼製品の価格競争激化による市況の下落や償却費等コスト負担増により、セグメント利益は6千1百万円（前年同期比86.1%減）と大幅に減少致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は1,139億8千6百万円（前年同期比15.2%増）、営業利益は138億7千1百万円（前年同期比6.7%減）、経常利益は155億2千3百万円（前年同期比7.8%減）、四半期純利益は103億2千2百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

なお、対米ドル換算レートは1米ドル102円95銭であります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,123億9千1百万円（前連結会計年度比119億9百万円の増加）となりました。

主な内容は、流動資産については、現金及び預金が87億7千7百万円減少しましたが、有価証券が51億3千1百万円、受取手形及び売掛金が37億8千3百万円、原材料及び貯蔵品が19億9千4百万円増加したことにより、流動資産合計で25億6千5百万円増加しました。固定資産については、主として株式市場の時価上昇による有価証券の評価差額金の増加などにより投資有価証券が60億8千3百万円、有形固定資産が29億6千5百万円増加したことにより、固定資産合計で93億4千3百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は586億2千2百万円（前連結会計年度比6億6千万円の増加）となりました。

主な内容は、流動負債では、支払手形及び買掛金が13億9千6百万円、短期借入金が9億4千8百万円増加しましたが、未払法人税等が23億4千6百万円減少し、流動負債合計で1千4百万円減少しました。固定負債については、長期借入金が17億2千6百万円減少しましたが、繰延税金負債が26億6千9百万円増加したことにより、固定負債合計で6億7千5百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,537億6千9百万円(前連結会計年度比112億4千9百万円の増加)となりました。

主な内容は、利益剰余金が配当金の支払いにより62億2千8百万円減少しましたが、四半期純利益103億2千2百万円などにより42億1千9百万円増加し、その他有価証券評価差額金が47億9千8百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月10日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

(日本)

国内事業につきましては、景気の先行き不透明感による鋼材市況への影響及び自動車減産など、当社を取り巻く環境は厳しい状況ですが、建築・土木用鋼管やユーザー向けの需要の捕捉に努めてまいります。また原材料のコイル価格上昇分の販売価格への転嫁が依然として課題ですが、引き続きスプレッドの回復に努めてまいります。

生産面では、新東京工場への統合に伴う生産・輸送効率の向上などコスト削減にも努めてまいります。太陽光発電事業も計画通りに進めてまいります。

(北米)

北米事業につきましては、Leavitt社では増強した設備の稼働向上により建築用・自動車用・エネルギー分野の需要を捕捉し、販売の拡大と収益の改善をはかってまいります。またマルイチ・アメリカン・コーポレーションを中心に米国西部での供給体制の整備や新規顧客の開拓をはかり、販売の拡大に努めてまいります。

メキシコのMARUICHIMEX社では、自動車用鋼管の需要の増加に対応するために第2工場の建設を進めていますが、建屋工事が昨年11月に完了し、今年の3月頃に新2インチミルが稼働する予定です。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社では改修完了した小径管設備で対応して、日系需要家向けに高品質の鋼管供給に注力しています。また、第2CGL・CCL及び16インチパイプミル等の設備をフルに活用して、製品の差別化をはかり、また生産面では生産性の向上やコストダウンに努め、採算の改善をはかってまいります。

インドのマルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッド(KUMA社)では、インド南部の供給体制を強化するためにバンガロール工場の建設を進めてまいりましたが、今年2月初めに2インチミルが稼働する予定です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が334百万円減少し、利益剰余金が215百万円増加しております。また、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及びセグメント情報に対する影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,921	55,143
受取手形及び売掛金	33,098	36,882
有価証券	20,681	25,812
製品	9,351	9,125
原材料及び貯蔵品	15,897	17,891
その他	3,630	4,062
貸倒引当金	△252	△23
流動資産合計	146,328	148,894
固定資産		
有形固定資産		
土地	30,514	30,619
その他	51,120	53,979
有形固定資産合計	81,634	84,599
無形固定資産		
のれん	325	278
その他	1,371	1,508
無形固定資産合計	1,696	1,786
投資その他の資産		
投資有価証券	67,552	73,635
その他	3,270	3,476
投資その他の資産合計	70,823	77,112
固定資産合計	154,154	163,497
資産合計	300,482	312,391

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,625	21,021
短期借入金	6,706	7,655
未払法人税等	4,416	2,070
賞与引当金	861	486
役員賞与引当金	80	59
その他	5,772	6,153
流動負債合計	37,462	37,448
固定負債		
長期借入金	12,675	10,949
役員退職慰労引当金	52	62
退職給付に係る負債	3,405	3,109
繰延税金負債	4,151	6,820
その他	214	233
固定負債合計	20,499	21,174
負債合計	57,962	58,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	220,002	224,221
自己株式	△20,492	△20,504
株主資本合計	224,927	229,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,108	13,906
為替換算調整勘定	△1,615	△599
退職給付に係る調整累計額	△68	△36
その他の包括利益累計額合計	7,424	13,271
新株予約権	112	134
少数株主持分	10,056	11,229
純資産合計	242,520	253,769
負債純資産合計	300,482	312,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	98,935	113,986
売上原価	75,298	90,631
売上総利益	23,636	23,355
販売費及び一般管理費	8,772	9,484
営業利益	14,863	13,871
営業外収益		
受取利息	181	213
受取配当金	778	861
持分法による投資利益	380	479
為替差益	543	89
その他	543	542
営業外収益合計	2,426	2,186
営業外費用		
支払利息	136	231
不動産賃貸費用	198	175
その他	120	127
営業外費用合計	455	534
経常利益	16,834	15,523
特別利益		
投資有価証券売却益	1	753
その他	96	17
特別利益合計	98	770
特別損失		
固定資産売却損	11	18
固定資産除却損	213	18
その他	9	—
特別損失合計	234	36
税金等調整前四半期純利益	16,698	16,257
法人税等	5,982	5,881
少数株主損益調整前四半期純利益	10,715	10,375
少数株主利益	349	53
四半期純利益	10,365	10,322

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,715	10,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,011	4,909
為替換算調整勘定	2,441	1,251
退職給付に係る調整額	—	36
持分法適用会社に対する持分相当額	229	125
その他の包括利益合計	10,683	6,322
四半期包括利益	21,398	16,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,247	16,168
少数株主に係る四半期包括利益	1,151	529

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	70,671	13,010	15,253	98,935	—	98,935
セグメント間の 内部売上高又は振替高	428	—	—	428	△428	—
計	71,100	13,010	15,253	99,363	△428	98,935
セグメント利益	14,265	163	441	14,870	△7	14,863

(注) 1. セグメント利益の調整額△7百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	74,891	16,218	22,877	113,986	—	113,986
セグメント間の 内部売上高又は振替高	866	—	—	866	△866	—
計	75,757	16,218	22,877	114,853	△866	113,986
セグメント利益	13,627	116	61	13,805	65	13,871

(注) 1. セグメント利益の調整額65百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間において、マルイチメックス S.A. de C.V. を連結の範囲に含めたため、北米事業における資産の金額が著しく増加しております。この結果、当該増加額を含めた当第3四半期連結会計期間末の北米事業の資産残高は、18,992百万円(前連結会計年度末15,671百万円)であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。